



2022年5月25日発行

## **安全データシート (SDS : Safety Data Sheet)**

### **1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称、品番 : バリアコートお手入れキット、NBCNRCK

供給者の会社名称 : 株式会社 LIXIL

住所 : 東京都品川区西品川一丁目1番1号

電話番号 : 0570-090-521

**項目2以降は、2頁以降を参照**

# 安全データシート

最新改訂日：2022年5月25日

作成日：2017年9月25日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：DURASURF（デュラサーフ）DS-5210SI35  
推奨用途：コーティング剤  
供給者  
会社名称：株式会社 ハーベス  
住所：埼玉県さいたま市浦和区常盤9-21-14パークサイドガクヤビル  
担当部門：品質保証部  
電話番号：048-824-2821（緊急連絡電話番号）  
FAX番号：048-824-2826

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類  
物理化学的危険性：区分に該当しない又は分類できない  
健康に対する有害性：区分に該当しない又は分類できない  
環境に対する有害性：区分に該当しない又は分類できない  
GHSラベル要素：絵表示なし  
注意喚起語：なし  
危険有害性情報：非常に高い温度で加熱された場合は、有毒な分解物を生成することがある。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

	化学名	CAS No.	含有率(質量%)
1.	パーフルオロポリエーテル	非開示	99以上
2.	フッ素樹脂	非開示	1以下
合計			100

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分：非該当  
安衛法「通知すべき有害物」該当成分：非該当  
化管法 該当成分：非該当

## 4. 応急処置

吸入した場合：蒸気を吸入した時は、新鮮な空気の場合に移動させる。  
呼吸困難の場合は、酸素吸入させ、呼吸停止の場合は人工呼吸を施し、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：付着した部分を水又は微温湯で石鹸を使ってよく洗浄する。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：清浄な水で口をすすぐ。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
- 医師に対する特別な注意事項：医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

## 5. 火災時の措置

---

- 適切な消火剤：火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。
- 使ってはならない消火剤：噴流水を消火に用いてはならない。
- 火災時の特有の危険有害性：火災によって刺激性/毒性/腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法：関係者以外を安全な場所に退去させる。  
霧状水により容器を冷却する。  
安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。  
風上から消火すること。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：防火服又は防炎服を着用すること。  
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

---

- 人体に関する注意事項
- 保護具及び緊急時措置：関係者以外を近づけない。  
回収が終わるまで充分な換気を行う。  
適切な保護具を着用する。  
着火源を取除くとともに換気を行う。  
風上から作業し、風下の人を退避させる。  
安全に対処できる場合は漏洩を止める。
- 環境に対する注意事項：漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。  
下水、排水中に流してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。  
多量に流出した場合、盛土で囲った後に処理する。  
ラベルを貼った密閉容器に回収物を保管する。
- 二次災害の防止策：排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

#### 技術的対策

- (取扱者のばく露防止)：ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
(注意事項)：皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。

#### 安全取扱注意事項

- ：屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
適切な個人用保護具を使用すること。

#### 接触回避

- ：強酸、強塩基、強酸化性物質との接触を避けること。

#### 衛生対策

- ：眼、皮膚、衣類につけないこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

#### 保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
涼しいところに置き、日光から遮断すること。  
施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 特に指定はない

### 8. ばく露防止及び保護措置

---

#### 管理指標

- 管理濃度 : データなし
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 許容濃度データなし  
: ACGIH 許容濃度データなし

#### ばく露防止

- 設備対策 : 適切な換気のある場所で取扱う。  
洗眼設備を設ける。  
手洗い/洗顔設備を設ける。

#### 保護具

- 呼吸用保護具 : 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用する。推奨材質：非浸透性もしくは耐化学品ゴム
- 眼の保護具 : 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

---

- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色透明
- 臭い : 無臭
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : 130-140℃
- 可燃性（ガス、液体及び固体） : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : なし
- 引火点（密閉式） : なし
- 自然発火点 : なし
- 分解温度 : 290℃以上
- pH : 適用外
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水に不溶
- nオクタノール/水分分配係数 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸発速度 : データなし
- 密度及び/又は相対密度 : 1.7-1.9 g/cm<sup>3</sup>
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : 適用外

### 10. 安定性及び反応性

---

株式会社ハーベス 製品名：DURASURF（デュラサーフ）DS-5210S135

整理番号：UR5006

反応性	： データなし
化学的安定性	： 通常の保管条件/取扱い条件において安定。
危険有害反応可能性	： データなし
避けるべき条件	： 直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
混触危険物質	： 強酸、強塩基、強酸化性物質
危険有害な分解生成物	： 炭素酸化物、フッ化水素、フッ化カルボニル、フルオロカーボン

## 11. 有害性情報

---

### 急性毒性

経口	： 分類できない（データなし）
経皮	： 分類できない（データなし）
吸入(ガス)	： 分類できない（データなし）
吸入(蒸気)	： 分類できない（データなし）
吸入(粉塵)	： 分類できない（データなし）
吸入(ミスト)	： 分類できない（データなし）
皮膚腐食性/刺激性	： 分類できない（データなし）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	： 分類できない（データなし）
皮膚感作性	： 分類できない（データなし）
生殖細胞変異原性	： 分類できない（データなし）
発がん性	： 分類できない（データなし）
生殖毒性	： 分類できない（データなし）
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	： 分類できない（データなし）
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	： 分類できない（データなし）
誤えん有害性	： 分類できない（データなし）

## 12. 環境影響情報

---

生態毒性	： データなし
残留性・分解性	： データなし
生体蓄積性	： データなし
土壌中の移動性	： データなし
オゾン層への有害性	： データなし
その他有害性	： データなし

## 13. 廃棄上の注意

---

廃棄物の処理方法	： 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。 承認された廃棄物集積場で処理する。 下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。
汚染容器及び包装	： 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

---

国連番号	： 非危険物	国連番号	： 非危険物
品名	： 非危険物	分類又は区分	： 非危険物
国連分類	： 非危険物		
容器等級	： 非危険物		
海上規制情報(IMDG)			

株式会社ハーベス 製品名：DURASURF（デュラサーフ）DS-5210S135

整理番号：UR5006

航空規制情報(ICA0/IATA) 国連番号 : 非危険物  
 分類又は区分 : 非危険物

## 国内規制

陸上規制情報 : 消防法、道路法の規定に従う  
 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。  
 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。  
 特別の安全対策 : 転落、落下、転倒もしくは破損しないように積載する。  
 容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。  
 運搬中、著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、最寄りの消防機関その他の関係機関に通報する。  
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

## 15. 適用法令

## 労働安全衛生法

表示対象物質 : 非該当

通知対象物質 : 非該当

PRTR法 : 非該当

消防法 : 非該当

船舶安全法 : 非該当

航空法 : 非該当

水質汚濁防止法 : フッ素及びフッ素化合物（施行令2条 第26号）

土壤汚染対策法 : フッ素及びフッ素化合物（施行令1条 第22号）

下水道法 : フッ素及びフッ素化合物（施行令9条の4 第27号）

廃棄物処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物（第2条 第4項）

## 16. その他の情報

## 参考文献

2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2020 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）

Supplier's data/information

NITE-CHRIP

特記事項：危険、有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

この安全データシートは、JIS Z 7253 : 2019に基づき作成され、本品を正常な条件の下で適切に使用し取り扱うための、最適な情報と作成時における最新のデータを示したものです。  
 記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。  
 取り扱いにはご配慮願います。